

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和5年12月26日(2023.12.26)

【公開番号】特開2022-20765(P2022-20765A)

【公開日】令和4年2月1日(2022.2.1)

【年通号数】公開公報(特許)2022-018

【出願番号】特願2021-182163(P2021-182163)

【国際特許分類】

A 24 D 1/20(2020.01)

10

A 24 F 40/20(2020.01)

A 24 F 40/42(2020.01)

A 24 D 3/17(2020.01)

【F I】

A 24 D 1/20

A 24 F 40/20

A 24 F 40/42

A 24 D 3/17

【手続補正書】

20

【提出日】令和5年12月18日(2023.12.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

加熱体により加熱されることにより、エアロゾルを発生するタバコ充填物集積体と、  
フィルタと、

30

前記タバコ充填物集積体と前記フィルタとの間に配置された円筒状の支持部材と、

前記タバコ充填物集積体、前記フィルタ、及び前記支持部材の外周に巻かれた包装部材  
と、を備え、

前記支持部材は、第1端面と第2端面及び周面部を有し、前記第1端面から前記第2端  
面までを貫通する孔部を有し、

前記第1端面は、孔部の部分が空隙で、それ以外の部分が中実であり、該中実部分が前  
記タバコ充填物集積体の端面に当接し、

前記孔部により形成される前記エアロゾルの流路の断面積は、前記支持部材の長手方向に  
沿って変化する、

加熱式タバコ用カートリッジ。

40

【請求項2】

前記支持部材は、前記周面部の表面に複数の凹凸部を有し、

前記複数の凹凸部は、前記タバコ充填物集積体の周方向に沿って設けられている、

請求項1に記載の加熱式タバコ用カートリッジ。

【請求項3】

前記孔部は、

前記第1端面を正面としたとき、前記周面部の中心軸を含まない第1貫通孔と、前記中心  
軸を含む第2貫通孔を有し、

前記第1貫通孔は、周方向に90°ずつの間隔を有して4つが配置されているか、72°  
ずつの間隔を有して5つが配置されている、

50

ことを特徴とする請求項 1 または 2 のいずれか一項に記載の加熱式タバコ用カートリッジ。  
。

10

20

30

40

50